

2026 年度	早稲田大学大学院文学研究科	入学試験問題
【修士課程】	専門科目	教育学コース
		※解答は別紙（横 書）

【問題 A】 次の 4 題から 1 題を選んで、1,500 字以内で答えなさい。（答案の冒頭に、選んだ問題の番号を明記すること。）

① 文部科学省は社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の好循環を提唱し、住民の主体的な学習参加による地域コミュニティの活性化を重視している。一方、厚生労働省の地域包括ケアシステムでは高齢者の社会参加が求められているが、従来の高齢者大学の受講者減少など、高齢者教育が抱える課題も深刻である。このような高齢者教育における「教育と福祉の谷間」問題が存在する中で、高齢者の地域づくりへの主体的参画を促進するための高齢者の学習の在り方について、教育行政と福祉行政の連携を踏まえ、高齢者教育の理論に添いながら論じなさい。

引用文献：

- ・ 文部科学省「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（案）」（2018 年）
- ・ 文部科学省「超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会（第 1 回）議事要旨」（2011 年）

② 不登校が激増するなか、不登校の子どもが学びたいと思った時に学べる環境づくりが進められている。実践的展開と政策的展開の両方の側面から論じてください。

③ ジェンダー平等を目指す教育実践について、インターセクショナリティの概念を用いながら、その学習の組織の際に求められる学習観、学習内容・方法、教師の役割について述べなさい。

④ 中等教育と高等教育の接続および移行の観点から、リメディアル教育、入学前教育、および初年次教育の意義と課題について論じなさい。

【問題 B】 以下の教育用語の中から 4 項目を選び、それぞれについて 400 字以内で解説しなさい。（所定の解答用紙には、選んだ問題の番号を明記すること。）

- (1) インクルーシブ教育
- (2) 平塚らいてう (1886～1971)
- (3) 学びの多様化学校
- (4) 部活動の地域展開
- (5) チーム学校
- (6) 包括的性教育
- (7) スクールソーシャルワーカー
- (8) 大学の認証評価制度
- (9) A. S. Neill (1883～1973)
- (10) シティズンシップ教育
- (11) 国際バカロレア
- (12) 社会教育主事
- (13) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法

(以下余白)

——ここから記入すること——

[illegible]

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

——このページには何も記入しないこと——

(次頁へ続く)

